

宮町東河内	幼虫 8 頭	2- II -1982	佐々木薫
" 上野田	" 1 頭	"	"
" 下野田	" 2 頭	"	入江照夫
" 能倉	" 3 頭	"	佐々木薫
" 志倉	" 1 頭	7- III -1982	"
" 溝谷	1 ♂	10- VI -1976	尾崎 勇
" 小原	幼虫 1 頭	21- II -1982	川崎悟良
" 西公文	" 2 頭	"	"
" 公文	" 2 頭	"	佐々木薫
" 森添	" 3 頭	"	"
" 河原田	" 3 頭	"	川崎悟良
" 釜河内	" 2 頭	"	佐々木薫
" 高野	" 1 頭	"	"
" 横山	" 1 頭	"	入江照夫
" 富士野	" 2 頭	"	"
" 倉床	" 2 頭	"	川崎悟良
" 福野	" 3 頭	"	佐々木薫
" 西深	" 1 頭	"	川崎悟良
" 福中	" 1 頭	"	入江照夫
" 生栖	" 1 頭	"	"
" 嵯峨山	" 2 頭	"	川崎悟良
" 安積	" 1 頭	"	佐々木薫
賀町赤西溪谷	2 ♂	10- VI -1980	黒田 収
" 上小野	幼虫 4 頭	14- II -1982	"
" 安賀	" 2 頭	"	"
" 原	" 5 頭	"	相坂耕作
" 水谷	" 2 頭	"	"
" 音水	" 2 頭	"	"
" 流田	" 3 頭	20- II -1982	入江照夫
" 斉木	" 5 頭	"	佐々木薫
" 道谷	" 2 頭	23- II -1982	"
" 石亀	" 1 頭	"	"
" 有賀	" 1 頭	"	"
" 野尻	" 1 頭	"	"
" 林殿	" 1 頭	"	"
" 飯見	" 1 頭	"	"

以上 104 ヶ所の産地の内、上月町久崎、安富町鹿ヶ谷、一宮町溝谷以外は幼虫にて生息を確認している。

〈参考文献〉

- 岩村 巖・中谷貴寿(1964) 西播の蝶分布資料(3)、
兵庫生物 4(5): 238
広畑政己(1980) 兵庫県に於ける蝶 5 種の新産地
てんとうむし(6): 30
藤岡知夫(1975) 日本産蝶類大図鑑、講談社、東京
宮脇 昭(1977) 日本の植生、学研、東京
山本広一(1971) 兵庫県の蝶相、月刊むし(3): 8

クロコノマチョウを相生市で採集

川崎 悟 良

相生市に於てクロコノマチョウを採集しているので報告しておく。

採集したのは、1980年の7月末と10月中旬の2回で、夏型の♂は相生市三濃山の標高300m地点のクヌギ林の近辺で採集している。秋型の♀は、私が勤めている石川島播磨重工の作業場の薄暗い場所での採集で、作業所は前が海、後は山となっている。個体は新鮮なので裏山を調査したが、その後発見していない。

以前にも当地域で採集に失敗したり、目撃したりしているが正確なデータは記憶していない。

また、近隣の竜野市でも、1979年の10月に発見したが、ネットに入れたものの採り逃している。

何時かはこの蝶の発生場所をつきとめる日を楽しみにしている。

〈採集及び目撃記録〉

相生市三濃山	1 ♂	30- VII -1980	川崎悟良
" 相生	1 ♀	17- X -1980	"
龍野市龍野町日山	1 ex	— X -1979(目)	"

Goro Kawasaki 〒678 相生市

チャバネセセリの越冬生態

広畑 政 己

1980年12月7日に相生市天ヶ台において、本種の越冬生態を観察することができた。

越冬していたのは2令～3令と思われる幼虫で、幼虫はメリケンカルカヤやススキの葉を2枚～3枚綴り合せて巣をつくり、中に潜んでいた。

メリケンカルカヤやススキの葉は枯れていたが、その根元には5cm～10cm程のびた新しい芽があり、幼虫はその芽を綴って巣をつくっていた。

越冬していた場所は、食草が密生しているところは少なく、まばらに生えているような日当りの良い崖に多く見られた。

12月7日は気温も高く、平均気温が7℃、最高気温が14.5℃(姫路市の気温)もあったので、巣から離れている幼虫もあった。

室内で飼育をすると、冬期でも成長するので、このような暖かい日には越冬中でも巣から出て摂食するようである。

Masami Hirohata 〒671-22 姫路市